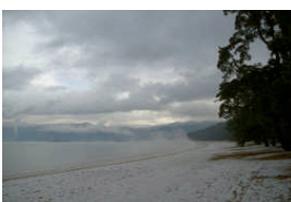


# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

※「景観資源の対象」の( )内番号は、位置図に掲載した写真番号

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	海岸・半島景観	門ヶ崎	白木 (5-4)		白木集落の北西に突き出した断崖絶壁が、神功皇后の出征の伝説を持つ門ヶ崎である。20m~40mの鋭く尖った岩峰や大岩塊の積み重なりが壮大である。岸壁は約6300年前に貫入した黒雲母花崗岩から出来ており、方状の節理が発達していて、波浪による浸食や崩落が進み、門状の大きな海食洞が出来ている。遊歩道が整備され上方から観察できる。
			白木の門ヶ崎から見た越前海岸の景観 (11-2)		白木の門ヶ崎は、隠れた？敦賀市の景観ポイントのひとつ。ここからは、越前海岸が良く見える。特に夕暮れの日没直前の景観は、お奨めと思う。
			白木の門ヶ崎から見た門ヶ崎観音の景観 (11-3)		白木の門ヶ崎は、隠れた？敦賀市の景観ポイントのひとつ。門ヶ崎観音には、関西地区からも参拝客が来るとか。真っ青な海と空、白い雲を背景にした景観は、お奨めと思う。
			白木の門ヶ崎から見たもんじゅの景観 (11-5)		白木の門ヶ崎は、隠れた？敦賀市の景観ポイントのひとつ。ここからは、もんじゅが真正面に見える。真っ青な海と空を背景にした景観は、特に秋口にはお奨めと思う。
			白木 (25-1)		『敦賀志』に「此の浦の出岬に大巖有りて、門のかたちをなせり」とある。俗に門ヶ崎と称し舟行して観るべしとあり、その形はあたかも左右に建つ門に見える。日本海に面し、はるかに越前崎を望む奇勝の地である。
			白木 (25-2)		天然の造形、神秘的な魅力と自然に対する思敬の念を感じる。花こう岩で形どられた観音さま、他府県からも参拝に訪れている。冬の夕日が重なる時が絶景だ。
		水島	水島 (9-1)		水島がこの美しさのまま残るように

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	海岸・半島景観	水島	水島 (9-2)		黒松よ頑張れの願いをこめて
			水島 (9-3)		美しい水島に感動
			手ノ浦 (県道から見た水島の景観) (37-2)		敦賀湾に浮かぶ水島、夏には海水浴客で島からあふれるぐらいにぎやかになりますが、シーズンが終り静かに休んでいるような水島が美しい。
	海岸・半島景観	気比の松原 (松原公園)	気比の松原 (15-1)		海と砂浜と松木がありふれたポイントだが松林のいくつもの太い幹も魅力の一つである。
			気比の松原 (35-2)		いつもの馴染み深い松原とはまた別の顔に感じたから。
			気比の松原 (花城側から) (35-3)		海面からの水蒸気がきれいに感じたから。
			松島町 (16-3)		松原公園の紅葉に新雪が降りすばらしい彩りを見せてくれた。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	海岸・半島景観	気比の松原 (松原公園)	松原公園遊歩道 周辺からみた景観 (12-5)		松の木が殆どとの印象があるが、公園内は桜、銀杏など紅葉する木々が沢山ある。約1.7km(?)の遊歩道を歩けば他にも引けをとらない。春は新緑も楽しめる。松原海岸も勿論素晴らしいが、木々の中に入って見るのも、また違った風景が楽しめる。
			江良 (13)		松ヶ崎の自然の四季(写真) 敦賀湾に面し岩礁に立つ老松の雄姿
		江良 (34-5)		敦賀の自慢の景色の一つと思っています。東浦海岸の代表的景色。	
		手ノ浦(県道から見た手ノ浦海岸のイカダ) (37-5)		西浦方面はよく釣りに行く場所です。道路より手ノ浦海岸のイカダが浮かんでいる景色が素晴らしいので写しました。	
		手ノ浦(白砂の手ノ浦浜が素晴らしい。道路より手ノ浦浜と入江の景観) (37-1)		敦賀半島の中で一番広い砂浜で白砂と海の青とが非常に良いコントラストになっていて素晴らしい。	
		杉津と横浜にある遊歩道 (16-4)		国道8号線より観る敦賀湾につき出た、4つのピークを持つユニークな形の岡崎は夕方や70m近い高度感のある遊歩道は楽しい。(但し道は荒れている)	
		赤崎 (34-4)		岩の上の松の木の生命力にいつも力強さを感じ、いつまでも残っていてほしい景色です。	

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	海岸・半島景観	松ヶ崎、手ノ浦などの海岸風景	縄間の里山より見た縄間の田園と常宮・杵の集落の海岸の風景 (19)		あまり、地元の風景をじっくりと眺めたことがなかったが、里山へ登り眺めたとき、あまりにも、綺麗な風景に見とれてシャッターを押した。
			池河内湿原	池河内 阿原池南側 (5-3)	
	春の池河内の川 (10-1)			初めて池の河内に行ったのが、春だったのですが、きれいな川に鴨が泳いでいて、すごくきれいな景色に感動したのを覚えています。	
	池河内 (24-4)			昭和52年に、阿原ヶ池を中心とした池河内湿原は、福井県の自然環境保全地域として指定された。ここには、北方系と南方系の動植物が入り乱れ、日本海岸系の要素も加わり学術的にも注目されている動植物の宝庫である。	
	池河内 (31-1)			福井県の自然環境保全地域に指定され、南方系、北方系、日本海岸系の要素が入り混じり、動植物の宝庫となっている。四季を通じて美しい。福井県唯一の珍しい湿性植物も多い。	
	池河内湿原 (35-5)			動物の足跡がたくさん付いていて、みんなが春を待ち望んでいるように感じたから。	
	田園	阿曾の棚田 (5-6)			棚田

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	田園景観	田園	杓見 夏の終わりの田園と野坂山 (29-2)		夏の終わり、稲穂が頭を垂れる杓見の田園。畦道の向こうには、敦賀のシンボル野坂山。特に太陽が西に傾く午後～夕は、まさに”夏の終わり”の日本の原風景的景観で、都会の生活に疲れた身には最高の癒やし風景です。
			新保のバス停の広場から、農地や山を見上げる景色。特に春から初夏が良いと思います。(10-2)		私は新保に住んでいるのですが、特にバス停の広場から見上げる農地や山の景色が最高に良いと思います。澄んだ空気に豊かな自然が映し出されている感じがなんともいえない気持ちにさせてくれます。
			新保の田園風景 (18)		私は新保に住んでいるのですが、特に段々畑の上部から見る田園風景や山の景色が最高に良いと思います。澄んだ空気に豊かな自然が映し出されている感じがなんともいえない気持ちにさせてくれます。
			中郷地区小河区 (8-1)		我が家の畑です。広さは約一反。そばの栽培は、今年で6年目です。村のたくさんの人と一緒に種まき、刈り取り、ハサ掛け、脱穀、トウミ掛けなどを行っています。
			中郷地区小河区 (8-2)		放置されて荒れ果てていた田んぼ・・・、仲間と一緒にハス池にと甦らせました。花ハスの苗を植えて2年目の今年です。それはそれは見事でした。
			檜曲 79 中池見ふれあい里 (26-2)		中池見ふれあいの里で田植があり檜曲のボランティアの人と子供達に参加した。田植をいろんな思いで田植をされていた。
	みかん畑	大比田 (14-2)		みかん狩り PR	

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由	
自然景観	田園景観	みかん畑	元比田 (6-1)		東浦地区の大比田のミカン栽培は江戸時代初期にも遡る。戦前は阿曾地区が特に盛んであったが、現在は、主に大比田や元比田の農家 10 数戸によって段々畑で温州ミカンやハッサクが栽培されている。国道 8 号線沿いで観光ミカン園が開かれている。	
		彼岸花群生	高野地区梅林下 高速道路の下あたり (1)		彼岸花の群生している場所はなかなかありません。泉ヶ丘病院から帰る途中、遠くの方に赤く染まっている場所を見つけ、もしかして・・・「うわあ～キレイ～」彼岸花が梅林の下に群生していました。私有地なので、景観を残す運動をしても残らないかもしれませんが、選ばれば、農家の人が、代々枯らさず荒らさず、残していってくれるかもしれません。	
	山並み景観	野坂岳	敦賀総合運動公園	敦賀総合運動公園 (12-1)		緑の芝生とともに、スポーツ愛好家にとって絶好の景観と環境。生き生きとした緑の芝生と、青い野坂山は自然一杯の絶好の景観。この素晴らしい環境でスポーツが出来るのは最高に幸せ。
			沓見	沓見 田んぼに張られた水に映る野坂山 (29-1)		日本の原風景の景観が残る沓見の田園。田植え前の 5 月初め頃は、水の張られた田んぼに敦賀のシンボル野坂山が逆さに影を落とし、この時期だけの癒しの景観が見られます。
			野坂の夢街道途中から見た野坂岳の景観	野坂の夢街道途中から見た野坂岳の景観 (11-4)		敦賀市を代表する山は、やはり野坂岳。市内各所から見えるが、ここがベスト・ポジションと思う。
			砂流	砂流 (27-1)		啄木の心より・・・今まで何度仰ぎ見た事でしょう。
			野坂 野坂岳三ノ岳	野坂 野坂岳三ノ岳 (5-5)		野坂岳は敦賀市民だけでなく県内外の多くの人達に親しまれた山で、年中登山者が絶えない。冬も雪の中を登るのも楽しい。三ノ岳から三ノ岳にかけてはブナ林が美しく新緑や紅葉の時期も素晴らしいが、条件が揃えばこのような樹氷を見ることがある。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	河川景観	黒河	山(黒河) (15-2)		滝と言えば自然に出来た物を言うのであるが、ここは土積流を防止する為に出来た人工滝であるが観ていると総大的でイヤな事を忘れさせてくれる魅力がある。
			山 (15-3)		白砂で豊富な水、緑がいっぱい、実にすばらしい所
			山の林道に入るところから見た (23-2)		敦賀市の水源として、多くの水量があり、よごれていないとてもきれいな川である為。
			山地区の黒河川 (雨谷) (35-1)		夏だけでなく、春の良さも知って欲しいと感じたから。
			笙の川	鳩原地籍笙の川 (鳩原橋上・下流) (39-2)	
	その他自然景観	桜並木	総合運動公園 (27-2)		「敦賀 千本桜」として何年、何十年か先がたのしみです。
			新和町2丁目 (6-4)		—

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	その他自然景観	桜並木	来迎寺橋より河口方面の景観 (3)		昭和 28 年頃、当時の青年団の有志の方が、戦災で消失した元、北津内、南津内の桜並木を偲んで、人の心を和ませようと植樹したと聞き及んでいます。樹齢 50 年以上の桜並木は市内でもないと思います。
			野神 (バイパス) (21-1)	—	桜がきれいだったので秋も行った。バイパスの近くでみんなの足が運びやすい。
			三島 2 丁目辺り、天理教越乃国大教会近く (12-4)		敦賀に多くの桜の名所はあるが、桜並木の長く続いているのは、ここが一番と思っている、この通りは他の道に比べ車、人の通行が少なく、この立派な桜並木を知る人が少ないと察し、多くの人に知らせたい。(この道にベンチがあれば良いと思います)
			泉ヶ丘町 (27-5)	—	手前みそとお笑いかもしれませんが、私の「仮の宿に」(エメラルドハウス) つながるこの道路にて。ことし 2 月からこちらにおせわになって、桜の時期にこの「さくら坂」。そして、溪山荘の 1 本の「しだれ桜」泉ヶ丘町の「桜並木」に出会い……。最高の幸せです。
		庭園	原 西福寺境内 (12-2)		西福寺庭園内の風景では有りませんが、境内の水面に浮かぶ水草と赤色と橙色の樹木そして緑の組合せが、控えめな狭い範囲ですが何ともいえないくらい素敵です。
			西福寺のコスモス畑 (7)		近くにコスモス畑があるのが嬉しくて毎年家族でコスモス祭りに参加しています！引越してきて 2 回目の参加です。今年はお気に入り写真がとれたので！
			神楽 (曙町) (34-3)		銀杏の美しい樹木と落葉の美しさはとても好きな風景です。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
自然景観	その他自然景観	鬼ヶ滝	黒河川支流口無谷第3号滝 (5-1)		黒河川には多くの滝があるが、中でも支流口無谷には、落差約20m～5mの落差をもつ滝や花崗岩の上を流下するナメ滝など十数の滝が連続して存在する。その規模や数において敦賀市内では最大である。
			黒河溪谷支流口無谷 (16-5)		四季を通じて口無谷の清流と滝が楽しめる。
		妙の滝	金山 井ノ口川源流 (5-2)		野坂岳の真西背面に位置する海拔約680mの井ノ口川源流に、落差約30m(推定)、最大幅約2mの滝である。幅約100m、高さ30～50mの一大岸壁のほぼ中央から落下する水流は、あたかも天女の羽衣を垂らすような優美な姿である。残念ながら道はないので一般にはなかなか近づけない。
		巨樹	金山 金山彦神社境内 (24-2)		福井県でも2番目に大きな巨木。県内でも代表的な名木のひとつ。主幹の一部には、かなり多くの乳がたれさがっている。乳の内部には上質のデンプンが含まれている。石塚資之の著した「敦賀志」にこの乳を煎じて飲むと乳がよくなると書かれている。
			小河(コミュニティバス小河出口停留場前) (30)		悠久の昔から、村人の行き帰りを見守って来た、タブの巨木老幹で地区のシンボルです。樹齢推定約150年、樹高約15m、幹回り6m、四方約10mにわたり枝を広げる巨木でどっしりとした風格
		歴史・文化的景観	郷土芸能景観	まつり	気比神宮前 (26-1)
常宮 (26-3)					気比神宮の神様と常宮神社の神様が年に一回のデートする日です。おり姫とひこ星のように、年に一度、海を渡り気比神宮の神様が常宮の神様に会いに来るお舟を写しました。昔のお話し素敵です。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
歴史・文化的景観	郷土芸能景観	まつり	刀根 (31-4)		春祭は、1700 年ほど前に仲哀天皇が敦賀に行幸の際、立ち寄られたことを再現し、桂の枝の作りものを頭にのせた子どもたちが行列をする。秋祭もまた、仲哀天皇に献上したとされる牛の舌の形の餅、あずきを入れた赤餅など、子どもたちが役目を担って奉納する。残したい情景である。
			本町 1 丁目 (37-4)		50 年振りに、つるが祭りに孫と一緒に行きました。昔はこんなに夜店がありませんでした。神楽通りから本町・駅前通りまでありびっくりしました。
			金ヶ崎 (34-1)		桜の名所の 1 つは敦賀では金ヶ崎宮です。敦賀の自慢の場所であり行事も一番気持ちのいい気候の頃のまつりです。
			金ヶ崎 (34-2)		春の美しさの中にこの行事がとても似合う感じがします。華やかさがとても感じられる。
			曙町 (6-2)		氣比神宮には色々な特殊神事があるが、御田植祭もその一つで三百年以上の伝統に支えられ、毎年 6 月 15 日に行われる。旧神領地である敦賀市津内の篤農家が奉仕し、田長以下早乙女が古伝の神楽歌を口ずさみ豊穰を祈願するものである。
歴史・文化的景観	歴史的建造物	城跡	刀根 60 号字外ヶ谷 (31-3)		賤ヶ岳の合戦(天正 11 年、1583 年)の際、戦国時代の武将である柴田勝家の本陣が置かれたところである。遺構が良好に遺存しており、平成 11 年 7 月 13 日に国指定史跡となった。大変、美しい。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
歴史・文化的景観	歴史的建造物	寺社	山 稲荷神社内 (23-3)		とても厳肅な空気を感じ、歴史的にもとても古い神社である。杉の大木もみごとである。
			刀根 (32-2)		小さい時から春四月、冬十二月に祭事を今も思い出として。又、テレビ等の放送も毎年あるから。
			栄新町 (32-1)		風雪をものともせず現在なお私達に何かを訴えている様に思います。
			曙町 (17-3)		日本三大鳥居ですばらしく戦災で焼失せず残ったことです。
			市野々 (26-5)		柴田庭園は、桜と紅葉も綺麗です。庭園も建物も東さんがボランティアで何年も綺麗にされ大切にされています。
	灯台	立石 (25-3)		日本海側の様式灯台二番目に日本人技師のみで設計施工された灯台	
		立石 (28-1)		過去 2 回程登って撮影したことがあります。今回は生憎曇天で撮影には不向きでした。然し何回行っても歴史的に貴重な建物として価値があると思いました。日本人による洋風灯台、明治の竣工、フランス製レンズ古人の労の一端が伺われます。	
	土木施設	刀根 (15-4)		柳ヶ瀬線の明治に創られたトンネルで歴史的にもかかげがえのない存在である。又、その創り方にもその時代とは思われないすばらしい創りであり魅力がある。	

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
歴史・文化的景観	土木施設	土木施設	刀根 (31-2)		日本の鉄道で現存する最も古いトンネル。明治13年着工、翌年完成した姿を完全にとどめている。全長56メートル。内部は石積み、レンガ積み、岩盤を削っただけの部分ありで、日本最古の旧長浜駅舎に勝ちとも劣らない貴重なものと評価されている。
			刀根 (6-3)		明治15年3月10日に日本海側に最初に陸蒸気が走り出した。それに先駆けてこの小刀根トンネル(56m)が明治14年に完成した。坑門は石造りで、内部はイギリス積みのレンガ造りである。トンネルの敦賀側上部には完成年を示す要石がはめ込まれている。今日まで当時のままの姿を留めており、敦賀市の文化財として指定されている。
			山の林道に入る手前 (23-1)		歴史的な物を感じ、現在の橋にはないものがある。今までこの様な橋は他には見ない。
	建造物	建造物	相生町 (大金) (17-1)		敦賀に残る代表的建物の為。
			桜町 (17-4)		川崎にあった大和田別荘がこわされたのがショックで敦賀倉庫はぜひいつまでも残る事を願い選ぶ。
			桜町 (17-5)		後世に残してほしい建物の為。
			野坂 (土塀) (22)		現代の野坂地区にあって中世からのこの地区の大地主の風格を保ち最近昔の儘の姿の土塀が復元され美しい姿を見ることができます。戦後にかけての変動のなかこの土塀を持つ光友家の佇まいは戦前からの姿を保ち続けこの土塀と横を流れる小川の水音は私が見た70年前と少しも変わっていません。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
歴史・文化的景観	歴史的建造物	地蔵等	山 石割地蔵横から見た (23-4)		大岩の迫力、又この大岩をお地藏様として奉ってきた歴史を感じる。
			楡川町湯所崎 (16-2)		海中地藏尊。漁師たちの無事に帰れるようにと、風雪、大波に耐える姿に拝んだ事があります。
			名子町名子崎 (16-1)		県道からも海からも起立する岩が見事。
			白木薬師堂参道 (24-3)		この大きな岩は、峠を越え、白木集落にさしかかる旧道脇の薬師堂参道前にある。「この村がひっくりかえるような災難時以外には、この岩を掘り越してはならない」と言い伝えられている。
	石碑等	川崎町 (観光ホテル前) (17-2)		いつまでも楽しめること。	
		松原 (気比の松原) (24-1)		勝海舟が詠んだ漢詩は、明治天皇の善政を称えたすばらしい歴史的文化遺産である。	
		常宮 (28-2)		新春の梅の花を撮りたくて敦賀方面へ出掛けましたが、さすがにまだ早かったようでした。それでも常宮神社の梅の蕾もかなり膨らんでいました。もう一週間か10日後の方がよかったかも知れません。社の灯籠の赤、綺麗に並んだ形が壮観でした。	

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
歴史・文化的景観	歴史的建造物	鉄道	金ヶ崎町から見た敦賀港線 (33)		世界の人・物が往来した 120 年の歴史を持つ港線は、鉄道のまち敦賀を代表する大事な遺産。命のビザを持って逃れてきたユダヤ人難民も通っており、廃線となるのは非常に残念。鉄道遺産として、また、港まち敦賀の発展のためにも、なんとか残って欲しいという気持ちを込めて。
農村・漁村集落景観	農村集落景観	集落	みどりヶ丘団地 (みどりヶ丘公民館前からみた昭和の開拓団の苦労の証の家並み) (2)	—	第 2 次世界大戦後の射的場跡地が、みどりヶ丘町で、ある事を、知りませんでした。国から、皆、同じ広さの土地を、与えられ、人力で、原野を開拓された苦労の証は、恵まれた現在の私達には、残すべき、景観だと、思う。
			栗野地区 (6-5)	 	栗野地区の御名、公文名は、黒河川の形成する扇状地上に集落が展開されている。かつては、集落が数戸単位に分散していた。また、フェーンの南東風から守るために屋敷の周りに防風林が植えられていた。富山県の礪波平野の散居村のミニ版である。現在は、新興住宅地が広がり、かつての散居村的な風景はごく一部残っている。上の写真は、洪積扇状地上に分散して展開する山集落である。下の写真は、公文名に残る屋敷林を持つ散居村的な農家である。一部には水害防止のために石垣を巡らしている。
			山区集落 (23-5)		これだけ広い農村集落を残しておきたいから
都市的景観	ベイフロント景観	敦賀港	新港 (27-3)		この 2 月、故郷に一人移り帰って、二男が連れて行ってくれた「新港」「すずらん丸」も入港していて思わぬ賑わい。まだまだ、敦賀は発展すると、幸せな喜びでした。
			江良、赤崎 (4)		江良、赤崎あたりから市街地を見た夜の敦賀湾でフェリーが停泊していると、海にシャンデリアが灯ったように見える。

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由	
都市的景観	バイフロント景観	敦賀港	港大橋 (14-1)		キレイだから	
		金ヶ崎緑地	金ヶ崎緑地公園 (ボードウォーク) (35-4)		船が未来へ向かって進んでいるように感じたから。	
			金ヶ崎緑地 (37-3)		金ヶ崎緑地にボードを張りつめた広場があり夕方、近所の人が犬をつれて散歩にきたりスケートをしたりで楽しく市民の癒やしの場所です。	
		きらめき港館	桜町 1-1 きらめきみなと館 (26-4)		きらめきみなとへ行った時、素敵な夕焼けを見ました。急いで、シャッターを切りました。素敵な夕焼けのきらめき港です。	
	都心景観	駅周辺	敦賀駅 (27-4)		—	朝 10 : 00 頃、小浜線の発車を待っている時、人々のざわめきにフト見たら「トワイライト」が止まっていました。人々の張り切った動きに感動しました。
			第 2 津内踏切 (20-1)		明治 3 年 (1869) 新政府は東京-横浜間、京都-神戸間とともに、港湾としての重要性から敦賀-米原間 (のちに敦賀-長浜間に変更) の鉄道敷設を計画。やや遅れて明治 13 年に着工し、翌 14 年 2 月には金ヶ崎-疋田間で不定期の貨物列車を運行、わが国で 5 番目の鉄道となりました。(関西電力広報誌引用) この歴史的に重要な鉄道が本年 3 月末で休止事実上の廃止となった。市が進めている新形態の鉄道の実現と野坂山との景観を実現してもらいたいとの理由で選出	
			敦賀駅 (21-2)		敦賀の玄関、賑わいのある駅前通り。	

# 敦賀市景観百景 一覧表 (写真は抜粋)

分類	項目	景観資源の対象	場所	写真	応募者選定理由
都市的景観	鉄道景観	鉄道沿線	鳩原 (20-2)		国内でも珍しい上り線と下り線がほぼ直角に交差するところ、関西電力の送電線鉄塔より見ることができる。鉄道ファンには知られているがあまり知られていない。木々の生長が著しく近い将来見ることが出来なくなるだろう。
			鳩原 8 号線榊谷頂上付近より (39-1)		鉄道写真家（専門家）も推奨
			鳩原踏切から見る景観 (38)	—	北陸線を走る電車の景観はもちろん良いですが特に一日何本か、上下線が交差する景観は素晴らしいです。
			鳩原 8 号線跨線橋より (39-3)		写真愛好家の人気スポット
	その他	市街地眺望景観	野坂の野坂岳駐車場から見た敦賀市街の景観 (11-1)		敦賀市街を一望できるポイントは他にもあると思うが、やはり野坂岳が市を代表している。中腹まで 1 時間程度汗をかくて登れば、もっと良いポイントもあるが、お手軽ポイントとしては、ここがベストと思う。
			北陸自動車道杉津パーキングエリアからみた景観 (12-3)		今庄から敦賀に向けて旧北陸線後をウォーキングしたときに立ち寄り、敦賀にこんな見晴らしの良い、素晴らしい景色に感動。関西から来た若いカップルも、こんな見事な所を見たことがないと感激していたので、この自然に誇りに思った次第。
		杉津パーキング	杉津（北陸自動車道下り線杉津パーキング） (36)		平成 21 年 1 月 NPO 法人地域活性化支援センターが、各地域を代表する公共性を有する観光施設や地域を中心とする「恋人の聖地」として認定され多くのお客様やカップルに訪れていただいております。12 月 19 日よりイルミネーションを実施しより魅力ある PA といたしました。また、敦賀湾越に日本海に沈む夕日も大変美しく敦賀市の名所の 1 つであると応募いたしました。
	建築物	花城 (24-5)		花城温泉復活工事は、昭和 33 年に進められたが計画途中にして、現在の京阪電鉄の保養所に売却。当時苦勞して掘削した温泉が脈々と生き続けている。源泉温度 16℃、性状ほとんど無色透明かつ無味無臭、微量のアルカリ性を示す。	